

指数先物・指数オプション取引の契約締結前交付書面 新旧対照表（2020年12月14日）

（下線部分変更箇所）

【主な変更箇所】

2020年7月27日以降、大阪取引所の総合取引所化により、指数先物・オプション取引とコモディティ分野の貴金属先物等について1つの口座でワンストップの取引が可能となっております。これに伴い、指数先物・オプション取引等の証拠金と商品先物・オプション取引の証拠金も一体として管理されることとなります。

これにより、指数先物・オプション取引等では利益が出ている状態であっても商品先物・オプション取引で大きな評価損が生じた場合には、証拠金不足が生じ強制決済が行われてしまうケースも生じます。SBI証券では、現在商品先物・オプション取引のサービスは提供しておりませんが、お客さまへの注意喚起を目的として契約締結前交付書面での当該説明を拡充させていただくこととしました。

新	旧
<p>P1 この書面には、指数先物・指数オプション取引を行っていただく上でのリスクや留意点が記載されています。あらかじめよくお読みいただき、ご不明な点は、お取引開始前にご確認ください。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>証拠金について</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数先物取引、指数オプション取引(売建て)を行うにあたっては、別紙「SBI証券の指数先物・指数オプション取引について」に記載の証拠金(後段3.(1)に記載の現金不足額を除き、有価証券(以下、「<u>代用有価証券</u>」といいます。))により代用することが可能です。)を担保として差し入れ又は預託していただきます。 <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>指数先物取引のリスクについて</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数先物取引の相場の変動や代用有価証券の値下がりにより不足額が発生したときは、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要となります。 <p>※ <u>大阪取引所において、同一の先物・オプション口座で指数先物取引以外の先物取引又はオプション取引(指数オプション取引、有価証券オプション取引、商品先物・オプション取引及び国債先物・オプション取引)を取引する場合、当該先物・オプション取引口座内での取引の証拠金は一体として計算・管理されるため、指数先物取引以外の取引において相場の変動により証拠金が不足し、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要になる場合があります。また、所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、それが指数先物取引に関して発生したものでなくても、指数先物取引の建玉が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うこととなります。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない 	<p>この書面には、指数先物・指数オプション取引を行っていただく上でのリスクや留意点が記載されています。あらかじめよくお読みいただき、ご不明な点は、お取引開始前にご確認ください。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>証拠金について</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数先物取引、指数オプション取引(売建て)を行うにあたっては、別紙「SBI証券の指数先物・指数オプション取引について」に記載の証拠金(後段3.(1)に記載の現金不足額を除き、有価証券により代用することが可能です。)を担保として差し入れ又は預託していただきます。 <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>指数先物取引のリスクについて</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数先物取引の相場の変動や代用有価証券の値下がりにより不足額が発生したときは、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要となります。 <p style="text-align: center;">(追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない

場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、損失を被った状態で建玉の一部又は全部が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うことになります。
(略)

指数オプション取引のリスクについて (略)

<指数オプションの売方特有のリスク>

- 売方は、証拠金を上回る取引を行うこととなり、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。
- 売方は、指数オプション取引が成立したときは、証拠金を差し入れ又は預託しなければなりません。その後、相場の変動や代用有価証券の値下がりにより不足額が発生した場合には、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要となります。

※ 大阪取引所において、同一の先物・オプション口座で指数オプション取引以外の先物取引又はオプション取引（指数先物取引、有価証券オプション取引、商品先物・オプション取引及び国債先物・オプション取引）を取引する場合、当該先物・オプション取引口座内での取引の証拠金は一体として計算・管理されるため、指数先物オプション取引以外の取引において相場の変動により証拠金が不足し、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要になる場合があります。また、所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、それが指数先物オプション取引に関して発生したものでなくても、指数先物オプション取引の建玉が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うことになります。

- 所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、損失を被った状態で建玉の一部又は全部が決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うことになります。
(略)

(略)

場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、損失を被った状態で建玉の一部又は全部を決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うことになります。
(略)

指数オプション取引のリスクについて (略)

<指数オプションの売方特有のリスク>

- 売方は、証拠金を上回る取引を行うこととなり、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。
- 売方は、指数オプション取引が成立したときは、証拠金を差し入れ又は預託しなければなりません。その後、相場の変動や代用有価証券の値下がりにより不足額が発生した場合には、証拠金の追加差入れ又は追加預託が必要となります。

(追加)

- 所定の時限までに証拠金を差し入れ又は預託しない場合や、約諾書の定めによりその他の期限の利益の喪失の事由に該当した場合には、損失を被った状態で建玉の一部又は全部を決済される場合もあります。更にこの場合、その決済で生じた損失についても責任を負うことになります。
(略)

(略)

P9

3. 証拠金について

(1) 証拠金の差入れ又は預託

証拠金は、次のように算出された総額の不足額又は現金の不足額のいずれか大きな額以上の額を、不足額が生じた日の翌日(顧客が非居住者の場合は不足額が生じた日から起算して3日目の日)までの金融商品取引業者が指定する日時までに差し入れ又は預託しなければなりません。

なお、証拠金は有価証券による代用が可能ですが、現金不足額に相当する額の証拠金は、必ず現金で差し入れ又は預託しなければなりません。

○ 総額の不足額

受入証拠金の総額が証拠金所要額を下回っている場

3. 証拠金について

(1) 証拠金の差入れ又は預託

証拠金は、次のように算出された総額の不足額又は現金の不足額のいずれか大きな額以上の額を、不足額が生じた日の翌日(顧客が非居住者の場合は不足額が生じた日から起算して3日目の日)までの金融商品取引業者が指定する日時までに差し入れ又は預託しなければなりません。

なお、証拠金は有価証券による代用が可能ですが、現金不足額に相当する額の証拠金は、必ず現金で差し入れ又は預託しなければなりません。

○ 総額の不足額

受入証拠金の総額が証拠金所要額を下回っている場

<p>合の差額</p> <p>○ 現金不足額 証拠金として差し入れ又は預託している金銭の額と顧客の現金支払予定額との差額</p> <p>a 証拠金所要額 同じ先物・オプション取引口座で取引を行っている先物・オプション取引について、次の①から②を差し引き、③を加えて得た額となります。</p> <p>●先物・オプション取引とは、<u>国債先物取引、国債先物オプション取引、指数先物取引、指数オプション取引、有価証券オプション取引、商品先物取引および商品先物オプション取引</u>をいいます。</p> <p>① SPAN証拠金額 SPAN証拠金額は、先物・オプション取引の建玉について、SPAN®により計算した証拠金額です。</p> <p>② ネット・オプション価値の総額 ネット・オプション価値の総額は、買オプション価値の総額から売オプション価値の総額を差し引いて得た額です。買オプション価値、および売オプション価値は、次のとおりです。</p> <p>買オプション価値の総額 ：買建玉が売建玉を上回るオプション取引の銘柄について、清算価格を1単位当たりの金額に換算した額に、売り買い差引数量を乗じて得た額</p> <p>売オプション価値の総額 ：売建玉が買建玉を上回るオプション取引の銘柄について、清算価格を1単位当たりの金額に換算した額に、売り買い差引数量を乗じて得た額</p> <p>●オプション取引とは、<u>国債先物オプション取引、指数オプション取引、有価証券オプション取引および商品先物オプション取引</u>をいいます。</p> <p>●清算価格は、原則として清算機関が定める理論価格とします。</p> <p>③ <u>取引受渡証拠金</u> <u>取引受渡証拠金は受渡により決済を行う場合に必要となる証拠金額として、清算機関が定める証拠金額です。</u></p> <p>●<u>取引受渡証拠金は、受渡を伴う商品先物取引についてのみ算出されます。</u></p> <p>b 受入証拠金の総額 証拠金として差し入れ又は預託している金銭の額+代用有価証券の額(有価証券の時価×掛目の合計)±顧客の現金授受予定額 (略)</p> <p>P22</p> <p style="text-align: right;">別紙</p> <p>SBI証券の指数先物・指数オプション取引について</p> <p>3. 取扱銘柄 先物・オプション取引において当社の取扱う取引は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内株価指数先物(日経225先物、ミニ日経225先物、TOPIX先物、ミニTOPIX先物、JPX日経インデックス400先物、東証マザーズ指数先物、TOPIX Core30先物[※]) 国内株価指数オプション取引(日経225オプション、TOPIXオプション[※]、JPX日経インデックス400オ 	<p>合の差額</p> <p>○ 現金不足額 証拠金として差し入れ又は預託している金銭の額と顧客の現金支払予定額との差額</p> <p>a 証拠金所要額 同じ先物・オプション取引口座で取引を行っている先物・オプション取引について、次の①から②を差し引いて得た額となります。</p> <p>●先物・オプション取引とは、<u>国債先物取引、国債先物オプション取引、指数先物取引、指数オプション取引、および有価証券オプション取引</u>をいいます。</p> <p>① SPAN証拠金額 SPAN証拠金額は、先物・オプション取引の建玉について、SPAN®により計算した証拠金額です。</p> <p>② ネット・オプション価値の総額 ネット・オプション価値の総額は、買オプション価値の総額から売オプション価値の総額を差し引いて得た額です。買オプション価値、および売オプション価値は、次のとおりです。</p> <p>買オプション価値の総額 ：買建玉が売建玉を上回るオプション取引の銘柄について、清算価格を1単位当たりの金額に換算した額に、売り買い差引数量を乗じて得た額</p> <p>売オプション価値の総額 ：売建玉が買建玉を上回るオプション取引の銘柄について、清算価格を1単位当たりの金額に換算した額に、売り買い差引数量を乗じて得た額</p> <p>●オプション取引とは、<u>国債先物オプション取引、指数オプション取引、および有価証券オプション取引</u>をいいます。</p> <p>●清算価格は、原則として清算機関が定める理論価格とします。</p> <p style="text-align: right;">(追加)</p> <p>b 受入証拠金の総額 証拠金として差し入れ又は預託している金銭の額+代用有価証券の額(有価証券の時価×掛目)±顧客の現金授受予定額 (略)</p> <p style="text-align: right;">別紙</p> <p>SBI証券の指数先物・指数オプション取引について</p> <p>3. 取扱銘柄 先物・オプション取引において当社の取扱う取引は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内株価指数先物(日経225先物、ミニ日経225先物、TOPIX先物、ミニTOPIX先物、JPX日経インデックス400先物、東証マザーズ指数先物、TOPIX Core30先物) 国内株価指数オプション取引(日経225オプション、TOPIXオプション、JPX日経インデックス400オ
--	---

<p>プシオン[※])</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外指数先物取引(NYダウ先物、FTSE 中国 50 先物[※]、台湾加権指数先物[※]) ボラティリティ指数先物取引(日経平均V I 先物) REIT 指数先物 (東証 REIT 指数先物) <p>※ TOPIX core30 先物、TOPIX オプション、JPX 日経 400 オプション、FTSE 中国 50 先物、台湾加権指数先物につきましては、取引所の流動性及び当社での取引状況を勘案し、2021 年 5 月に取扱いの停止を予定しています。対象 5 銘柄の新規建ては 2020 年 8 月 31 日 (月) 夜間立会よりすでに終了しております。</p> <p>(2020 年 12 月)</p>	<p>ション)</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外指数先物取引(NYダウ先物、FTSE 中国 50 先物、台湾加権指数先物) ボラティリティ指数先物取引(日経平均V I 先物) REIT 指数先物 (東証 REIT 指数先物) <p>(追加)</p> <p>(2019 年 12 月)</p>
---	---

以上